

作成年月日： 2021年 4月 8日（Ver.1.0）

久留米大学では、受診時に患者さんから取得された診療情報等を使用して下記の研究を行っています。本研究で使用される診療情報等は他機関への提供は行いません。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】 緑内障患者の配合点眼剤変更によるアドヒアランスの検討**【診療情報の対象者（研究対象者）】**

- 1) 受診期間：西暦 2020 年 8 月から西暦 2021 年 3 月までの間に受診
- 2) 受診科：久留米大学病院/医療センター 眼科
- 3) 対象疾患名：緑内障と診断され、通常診療において 3 剤 4 成分の点眼剤による治療から 2 剤 4 成分の点眼剤による治療に変更を希望された方

【診療情報等の項目】

診療情報等：【通常診療にて取得された診療情報（年齢、性別、病型、視力、眼圧、角膜内皮細胞密度、角結膜所見、変更前・変更後のアンケート）】

【研究目的】

緑内障治療で、

- 【1】PG（プロスタグランジン）製剤、
- 【2】 β 遮断薬/CAI（炭酸脱水酵素阻害薬）配合剤、
- 【3】アドレナリン $\alpha 2$ 受容体作動薬

の 3 剤 4 成分（朝夕 2 回点眼 2 剤、夜 1 回点眼 1 剤）を点眼している患者さんの中で

- ① PG 製剤/ β 遮断薬配合剤、および②CAI/アドレナリン $\alpha 2$ 受容体作動薬配合剤の 2 剤 4 成分（朝夕 2 回点眼 1 剤、夜 1 回点眼 1 剤）に変更を希望された方を対象として、通常診療の中で配合剤への変更前および変更後の眼圧、使用感、アドヒアランスの改善などの成績について調査します。

【研究（利用）期間】 久留米大学倫理委員会承認後から西暦 2025 年 8 月まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません。

【問い合わせ先】

研究責任者（使用する情報の管理責任者）：久留米大学医学部眼科学講座 辻拓也

問い合わせ担当者：久留米大学医学部眼科学講座 辻拓也

電話：(0942)-31-7574（内線 11666）

E-mail: kurumeye@med.kurume-u.ac.jp

研究番号 21023